

平成30年度 外国人研究者招へい事業(外国人招へい研究者(短期第2回)) 採用者一覧

外国人研究者氏名・国籍	受入研究者氏名・所属	小区分	研究課題	採用期間
CIAPPINA Marcelo Fabian イタリア	山内 薫 東大・教授	基礎物理化学関連	原子・分子とプラズモン増強場の相互作用	2019/02/12～2019/03/02 (19日間)
NJARDARSON Jon T. アイルランド	林 雄二郎 東北大・教授	有機合成化学関連	新規反応開発—天然物および医薬品の全合成—反応機構解析	2019/02/06～2019/03/20 (43日間)
ANDERSON Harry Laurence 英国	大須賀 篤弘 京大・教授	構造有機化学および物理有機化学関連	大環状共役ポルフィリンの化学	2019/03/19～2019/04/09 (22日間)
LEE Yong-Il 韓国	金田 隆 岡山大学・教授	分析化学関連	ナノマテリアルによるセンシングを利用した高性能ペーパー分析デバイスの開拓	2019/01/02～2019/02/28 (58日間)
HACKENBERGER Christian Peter Richard ドイツ	浜地 格 京大・教授	生体関連化学	ナノボディとリガンド指向性化学との共創による生細胞蛋白質標識の拡張	2018/11/26～2018/12/16 (21日間)
REEK Joost Nicolaas Hendrik オランダ	真島 和志 阪大・教授	有機合成化学関連	超分子触媒の合理的な設計に基づく新触媒反応の開発研究	2018/11/05～2018/11/22 (18日間)
TOVAR John Dayton 米国	山口 茂弘 名大・教授	構造有機化学および物理有機化学関連	特異 π 電子系の自己組織化による機能創出	2019/01/20～2019/02/16 (28日間)
MURALEETHARAN Murugesu カナダ	酒井 健 九大・教授	無機・錯体化学関連	含窒素レドックス活性配位子と錯体触媒を融合した多機能性ナノ材料の開発	2019/02/15～2019/03/15 (29日間)
HOFF Wouter David オランダ	藤澤 知績 佐賀大・准教授	基礎物理化学関連	ラマン光学活性分光法を用いた色素タンパク質の新規構造解析法の開発	2019/03/15～2019/04/15 (32日間)
TAN Choon Hong シンガポール	山本 尚 中部大・教授	有機合成化学関連	ルイス塩基を基盤とした実用的不斉有機触媒の開発	2018/10/06～2018/11/01 (27日間)
JUNK Peter オーストラリア	山下 誠 名大・教授	無機・錯体化学関連	ホルムアミジナト配位子を有する希土類錯体の化学	2019/01/07～2019/02/07 (32日間)